

「一日一日の積み重ねを大切に」～全校朝会の話から～
校長 二ツ森 孝史

先日の全校朝会では、中体連夏季大会での生徒たちの頑張りをたたえとともに、夏休みまでの学校生活の過ごし方や地域との関わりについて話をしました。

中体連夏季大会では、一人一人が目標に向かって真剣に競技に取り組み、仲間を励まし、応援する姿が見られました。また、先生方からも、生徒たちが最後まであきらめずに挑戦する姿や、互いに支え合う姿が数多く報告されました。競技に向かう真剣なまなざしや、一つ一つのプレーに全力を尽くす姿からは、それぞれの努力の積み重ねと、仲間との強い絆が感じられました。

県大会への出場を決めた皆さん、本当におめでとうございます。これまでの努力を自信に変え、泊中学校の代表、上北地区の代表として堂々と力を発揮してほしいと思います。さらに高い目標に向かって挑戦する姿が、後輩たちにとっても大きな励みになることを期待しています。

一方で、思うような結果にならず悔しい思いをした生徒もいると思います。しかし、大切なのは結果だけではありません。目標に向かって努力したこと、仲間と協力したこと、最後まであきらめずに挑戦し続けたことは、必ずこれからの成長につながる貴重な経験です。この経験を次の目標へとつなげていってほしいと思います。

夏休みまであと3週間となりました。授業にしっかり取り組むこと、提出物を期限までに出すこと、友達を思いやること、自分から進んであいさつをすることなど、日々の小さな積み重ねが大きな成長につながります。充実した1学期の締めくくりとなるよう、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

また、7月18日と20日に開催される泊まつりは、地域の皆さんと交流し、自分たちが地域の一員であることを実感できる貴重な機会です。あいさつや手伝い、ルールやマナーを守った行動を心がけることは、地域から信頼される中学生として大切な姿です。当日は積極的に参加し、地域の中でもしっかりと役割を果たしてくれることを期待しています。

これから暑さが本格化します。熱中症予防のため、水分補給や十分な睡眠、早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、健康管理にも十分気を付けながら生活してほしいと思います。体調を整えることも、毎日の積み重ねの一つです。

全校生徒がそれぞれの目標に向かって一日一日を大切に過ごし、笑顔で夏休みを迎えられることを願っています。